

NEWSWAVE

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

著者 日本ビズアップ株式会社
発行 税理士法人森田会計事務所
〒630-8247
奈良市油阪町456番地 第二森田ビル4F
TEL (0742) 22-3578 FAX (0742) 27-1681

法人調査の4割近くが赤字法人調査 1割強の約4千件が黒字に転換

今年6月までの1年間（2013 事務年度）における法人の黒字申告割合は 29.1%で3年連続増加したが、低水準は変わらず7割強の法人が赤字だ。このような状況に便乗して実際は黒字なのに赤字を装う企業が後を絶たない。同事務年度中に法人税の実地調査をした9万1件のうち4割近い3万5千件は無所得申告法人の調査に充てられ、うち1割強（12%）の約4千社が実際は黒字だったことが、国税庁のまとめで判明した。

調査結果によると、実地調査した3万5千件のうち、約7割に当たる2万4千件から総額2809億円にのぼる申告漏れ所得金額を見つけ、加算税51億円を含む261億円の税額を追徴し

た。調査1件当たりの申告漏れ所得は808万円となる。

また、実施調査したうちの22.8%の8千件は仮装・隠ぺいなど故意に所得をごまかしており、その不正脱漏所得金額総額は986億円にのぼった。不正申告1件当たりの不正脱漏所得は1245万円。

2013 事務年度は無所得申告法人調査は、前年度に引き続き改正国税通則法の影響で1件当たりの調査日数が増えたことから、実地調査件数はやや減少している。それでも、黒字転換した法人は前年度とほぼ同様の約4千社あったわけだが、調査で把握された1件当たり申告漏れ所得金額は808万円とかなり高額だ。

ここに、赤字の仮装などの観点から、無所得法人に対する調査を重点的に実施する背景がある。

中小のユニークな制度目立つ 厚労省 キャリア支援企業表彰

厚生労働省が毎年秋に表彰しているキャリア支援企業が発表され、全国58の企業などの応募から10法人が選定された。業種も従業員規模も様々で、特に大企業に交じって中小企業のキャリア支援企業のユニークな制度が目立った。

中小企業は千代田設備（新潟市中央区、設備工事業、従業員数220人）、ホテルさかえや（長野県下高井郡山ノ内町、旅館、従業員数28人）、東北テクトロン（長野県茅野市、製造業、従業員数120人）、共栄資源管理センター小郡（福岡県小郡市、一般廃棄物処理業、従業員数36人）が選ばれた。共通項は「社内研修制度」の充実である。

従業員のキャリア形成は職業生涯の長期化、産

業構造の変化などを背景に、働く人が自らの能力を高め、希望するキャリア（職業経歴・働き方）を形成していくことが重要となっている。

こうした背景を受け、厚労省では平成24年度から、従業員のキャリア形成を積極的に支援して他の模範となる企業を讃え、その取組を広く周知・普及させることを目的として表彰制度を設け11月に表彰している。10社は従業員のキャリア目標設定を支援するとともに、さまざまな職業能力開発の機会、キャリア形成につながる働き方の提供などで優れた取組を実施しており、これらが高く評価された。中でもキャリア名簿（共栄資源管理センター小郡）は企業規模や業種を問わず目標設定と自主管理の目的を叶えそうな優れたものだ。